



令和5年 年頭所感



特定保健用食品公正取引協議会

会長 下田 智久

新年あけましておめでとうございます。謹んで皆様方からの特定保健用食品公正取引協議会へのご理解、ご支援に対し、お礼申し上げます。

特定保健用食品公正取引協議会は、2020年に発足し3年目を迎えました。

特保商品容器包装表示の「特保公正マーク」使用件数も少しずつ増え、それに伴うチラシやTV広告表示へのご相談等が増えてまいりました。

昨年度は、「特保公正マーク」の使用承認を条件に、TV コマーシャル等において許可表示を省略することが可能となるよう行政機関との調整を行い、10月には規則等を改正いたしました。

これによって、消費者に保健の用途や対象者が見やすく分かりやすく伝わり、広告主にとっても商品特性をしっかりと伝える手助けになるのではないかと考えております。

また、かねてからの課題であった「食後血糖値と健康診断」を取り上げた広告につきましても、当協議会の見解を取り纏め、新年早々、会員の皆様にお知らせする予定です。

今年は、さらに一步すすんで、許可後に実施されたヒト試験論文や市販後調査で得られた新たなエビデンスの広告への活用により、消費者により分かり易い広告表現が出来るよう取り組んでまいります。

また、未加入の特定保健用食品表示許可取得企業の皆様の特保公正取引協議会への加入促進にも力をいれてまいります。

最後に、いつもご支援、ご指導いただいております会員各位、関係団体、行政機関の皆様には感謝申し上げますとともに、健康で幸せな一年となりますよう心から祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。